コンさる君の

今日も視界良好　代表編

Flagship Management Official Newsletter

6月号

「和歌山支店を開設いたします」代表取締役　長尾　康行（中小企業診断士）

代表取締役　長尾　康行

皆さん、こんにちは。株式会社フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。一部のお客様には既にご案内させていただいているのですが、令和５年６月１日に和歌山に支店を開設する運びとなりました。私自身、和歌山でお仕事をさせていただくことも多いことに加え、弊社の社員の杉本が和歌山出身であることや５月に入社した林が和歌山の金融機関出身ということもあり、それならばと思い切って支店を出そうという話になりました。

私のことを知っていただいている方は想像できると思うのですが、私は即断即決型の人間ですので、支店を出すと決めたらその１週間後には物件も決めてしまいました。

４月から５月にかけては電話やネットの工事、レイアウトや什器の搬入などを行い、準備をしてきました。当社にとっては初めての支店ですので、楽しみではありますが不安もあります。経済的は不安は特にありませんが、物理的に離れた拠点で同じ方向を向き続けて働くというのは簡単なことではないと思いますし、本社と支店のセクショナリズムも発生するかもしれません。これまで以上にコミュニケーションの量を増やさなければならないと思いますし、拠点が別でも助け合ったり、励ましあったりする関係を維持するための工夫や仕掛けも必要です。会社が成長していく過程では、様々な問題が起こるのは当然ですので今回の支店開設も予期せぬ問題が出てくると思いますが、それらを解決しながら皆で成長しようと思います。

また、和歌山のような地方では専門家の数も少ないですし、相談相手を求めている企業様もたくさんあります。我々も営利団体ですので利益は必要ですが、まずは皆様の良き相談相手であり、頼れるパートナーとして認知されるように頑張ります。

「自己紹介」　ビジネスアナリスト　林　友希

５月より入社いたしました林友希と申します。前職では金融機関に２２年勤務し、法人向け、個人向けの営業業務を担当し、その後、個人及び中小企業に対する融資相談業務を担当しておりました。事業性における資金調達や経営改善等の経営支援を行いながら、様々な事業者様と出会う中で、事業者様に寄り添い、より最適な支援を提案しビジョンを共有していきたいと考え、経営コンサルタントを目指すことを決意いたしました。今後は前職の経験を活かしながら、ご縁のある事業者様に寄り添い、問題解決に向けて財務支援を中心に様々なご支援やご提案を実行できるようなコンサルタントを目指し日々精進して参ります。よろしくお願いいたします。

生年月日：1978 年 2 月 10 日生　星座：みずがめ座　血液型：O 型　趣味：スポーツ観戦

5 月 18 日に懇親会@梅田を行いました。

4 月・5 月に新入社員が入ったこともあり、平日に仕事を放棄して、バーベキューとボウリング大会を開催しました。まず、梅田のリンクスの屋上にバーベキューの施設（こんな施設があるのを私は知りませんでした）で、12 時から 15 時半までダラダラと食べて飲んで・・・。その後、近くのラウンドワンに移動してチーム対応のボーリング大会を行いました。平日に仕事を放棄という暴挙に出ましたが、皆でリラックスして過ごすことができました。

和歌山支店はここです

〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８
中之島８０１ビル　１２階

12 階建ての 12 階ですので、展望は抜群です。JR 和歌山駅や阪和道和歌山 IC からもほど近く、交通の便も良いです。
6 月 1 日からは杉本、林が常駐し、長尾も週に 2 日程度はこちらに出勤する予定です。和歌山事務所でも採用を強化し、活気のある支店を目指します。お近くに来られた際は、お立ち寄りいただければ嬉しいです。

おすすめのお店「ル・シュクレ・クール」大阪府大阪市北区堂島浜 1-2-1 新ダイビル 1F

大阪では有名なパン屋さんです。長尾はここのクロックムッシュが好きでよく買いに行くのですが、夕方に行くとほぼ売り切れています。パン好きの方は是非、訪れてほしい名店です。

発行元：株式会社フラッグシップ経営　経営革新等認定支援機関
大阪本社　：〒541-0043　大阪市中央区高麗橋 3 丁目 2-7　ORIX 高麗橋ビル 5 階
和歌山支店：〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８　中之島８０１ビル　１２階
ＴＥＬ：0120-34-8776　　FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp　　URL：www.flagship-keiei.co.jp

Flagship Management Official Newsletter

コンさる君の 今日も視界良好

6月号
vol.074

「叱られ上手で成長する」　マネージャー　木戸　貴也（中小企業診断士）

この春、新入社員となった方や転職して新たな職場となった方も多く、新しい環境で働きだしたときには、慣れない環境からうっかりミスをしてしまい、上司や先輩に怒られることが多いと思います。

些細な表現方法や軽微な抜け漏れでも厳しく指摘されることもありますが、このような時、絶対にやってはいけないことがあります。それは、「不貞腐れる・拗ねる」、「不平不満を言う」、「ムッとした表情を出す」、「落ち込んでシュンとする」などです。基本的に怒りたい人は会社にいないです。上司や先輩も厳しく言いたくはないけれども敢えて相手のことを思って叱っています。（中には、本当に感情的になって怒っているだけの方もいるのは事実ですが、これは論外ですね。）叱った時、指摘した時に上記のような態度を取られると次回から言いにくくなりますし、結果として誰も教えてくれなくなります。

そうなると成長機会を逃すことになりますし、不貞腐れる人を敢えて育てなければならない義務は誰にもありません。でも、これを上手く活用すると「ワザと指摘されやすい雰囲気、叱られやすい雰囲気」を出せれば、成長機会が格段に増えます。常に素直な気持ちで相手の話を聞き、上司や先輩の指摘を一旦 100%受け止めることが、こういった雰囲気に繋がります。誰でも叱られたり、指摘されたりすると反抗的な気持ちは芽生えるものです。それをぐっと抑え、自分自身の成長のための材料にしましょう。悔しければ、成長し、成果をあげて、見返してやりましょう！

「もったいないの行方」　ビジネスアナリスト　杉本　貴弘（中小企業診断士）

今年の GW は家族総出で家の大掃除を行いました。自身が小学生の頃に使っていた野球道具から近年勉強した資格の教材、家族で使っていた洋服ダンスや長持など、最終的にはトラックいっぱいになる程、処分するものがあふれていました。これは、「もったいないからとりあえず残しておこう」や「次の掃除の機会に考えよう」といった保留を長年積み重ねてきた結果であり、清算のためには 1 週間にも亘る時間が費やされました。もったいないと思って残した事により、せっかくの長期休暇をもったいない時間の使い方をしてしまいました。全てを即断即決する必要はないと思いますが、保留した後の処理については怠らず行う必要があると身に染みて感じることとなりました。

「大阪の地酒イベントに参加しました」　ビジネスアナリスト　伊藤　侑加

先日、大阪酒販協同組合青年会と大阪府酒造組合が主催する大阪地酒天満大酒会に参加しました。1500 円で最大 10 種類の大阪の地酒が味わえるイベントです。大阪の地酒は、飲み口はすっきりと、後からふくよかな旨味が感じられる食中酒に適したお酒が多いですが、最近はフルーティーな味わいのお酒など、各酒蔵の特徴を残しながらも時代の変化に対応した酒造りをされている印象です。今回で第 9 回目の開催でしたが、コロナ禍の中止期間、昨年の時短による開催を経て、今年ようやく本来のスケジュールでの開催となりました。主催者の 1 人である酒屋さんの方にイベントの状況を伺ったところ、今回はコロナ前と比較して 1.8 倍の来客数だったそうです。しかし、どれぐらいのお客様が来て下さるのかわからず、近隣住宅へのポスティングなど集客の工夫をされたとの話も聞きました。今回のイベントだけでなく、コロナウイルス感染症が 5 類に移行となり、全国各地で様々なイベントが復活しています。日本酒のイベントでは、酒蔵の方によるお酒造りにまつわる話や、地元の食材、文化、地域の人の温かさなど、現地に訪れることで初めて知れる事も多くあります。今後、手洗いやうがいなど、自分自身が出来る予防策は取りながら、各地のイベントなどにも参加したいと思います。

「追う立場から追われる立場へ」ビジネスアナリスト　橋本　大治

弊社ではインターン生の受入を行っており、インターン開始から既に 1 カ月が経とうとしています。インターン生が入ってきた当初は「自分にもこんな時期があったのか」と微笑ましいような気持になっていましたが 1 カ月も経つと成長の早さに驚きます。当時の自分と比較すると全員のレベルがとても高いです。「すぐに先輩に追いつきます」と言っていた子も生意気だなと思っていましたが冗談ではなくなりそうです。

後輩の成長は非常に嬉しいですが、先輩としての立場が脅かされる恐怖にも苛まれております。常に成長しなければ今のままで過ごせるほど社会は甘くありませんね。

株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ
いいね！ お待ちしております。

株式会社フラッグシップ経営 Twitter
@flagship_keiei にて随時情報発信中！

裏面へ

「都会から離れてリフレッシュ」　ビジネスアナリスト　秋定　皇輝

大阪と言われると日本有数の大都会と思われる方も多いかもしれません。私が住んでいるところも会社のある淀屋橋も都会でありコンクリートジャングルなので、ふと自然を感じたくなりました。そこで、大阪市内から車で約１時間、兵庫県と京都府の境にある能勢町へ先日行ってきました。目的は山の上にあるカフェで、唯一あるランチメニューのハンバーグと、名物のティラミスをいただきました。山の上にあるカフェなので、鳥のさえずりや風で揺れる木々の音など自然が多く、無心でぼーっとした時間が心地よかったです。
また、道中の峠や見渡した際の一面田んぼの光景など、緑が多くブルーライトから離れたことで目も心も休息できました。都会の方が便利だ、という点から都会派でしたが自然を感じることも重要だなと感じました。

「香りを楽しむ」ビジネスアナリスト　江口　京

香りものが好きで、香水やハンドクリーム、紅茶など、ついつい色々買ってしまう癖があります。香りには前向きな感情をもたらしたり、リラックス・リフレッシュ効果があったりと、様々な効果があるようです。最近のお気に入りはネイルオイルで、7:15 という名前の通り、朝をイメージした一日の始まりにぴったりな香りです。
香りはビジネスシーンでも効果を発揮しています。集客効果や滞在時間の延長、おもてなし効果などがあるようです。いいホテルのロビーはいい香りがするのもそんな理由からでしょうか。暗いニュースも多い中、お仕事でも、プライベートでも、香りを取り入れて気持ちを落ち着けてみるのもいいかもしれません。

「いくらしてもし過ぎるということはない」 ビジネスアナリスト　杉原　千尋

「Cannot ~ to…」という英語構文を覚えていますか？「いくら…してもしすぎることはない」と訳し、例えば「You cannot be too careful= いくら気をつけてもしすぎることはない」といった使い方をします。
例文は直訳だと違和感がありますが、言うなれば「念には念を」でしょうか。「これは他の人にも確認しておいたほうがいいだろうか」「相手はこの情報は既に知っていそうだけど、説明するべきか」などなど、しようか／するまいか迷う場面に遭遇した時は、この構文の言い回しを思い出し、なるべく「する」ほうを選ぶよう心掛けています。判断に迷うと言うことは、自信がなかったり、懸念が残っていたりする状態です。しなかった結果悪くなることはあっても、した結果悪くなることはない少ないのではないでしょうか。もちろん、なんでもかんでもすれば良いというわけではありませんので、取り扱いには要注意、あくまで迷った際の判断基準です。

「IT 技術を活用した取り組み」 ビジネスアナリスト　榛本　啓嗣

最近、世間で話題になっている ChatGPT ですが仕事に活用できそうだと思いネットや詳しい人にやり方を聞きながら実践してみました。結果として、検索方法を学べば意外と仕事にも活用することができるのではないかと感じています。私たちのような、パソコン作業の時間が多い業種にとっては、今後 ChatGPT によって作業効率を高める方法も考えていくべきではないかと思います。私自身は、ちょっとした調べ物や業界のマーケットについての考え方を再確認する際に、ChatGPT を使用して時間の短縮を図ることや自分では探し出すことができなかった情報などを検索しています。コンサルティング業界に限らず、どのような業界においても IT 技術を活かした投資が活発化しており、単純作業の自動化や人的ミスが多い業務の自動化を図る企業が増加しています。
コロナを機に、人の作業を減らしていく取り組みは今後も進んでいくと思いますので、今後もＩＴ技術についての理解力を高め、実際に使用することができるようになることが時代の流れとして必要であると思いました。

「インプットとアウトプットの重要性」　ビジネスアナリスト　日野　慎太郎

入社して１カ月が過ぎました。前職から大きく業務内容が変わり、まだまだ慣れないことも多いですが、先輩社員に教えてもらいながら充実した時間を過ごしております。その中で感じたことは、インプットとアウトプットの重要性です。入社するまでは、中小企業診断士資格の勉強等、インプットに偏った状態でした。しかし、実務というアウトプットをする中で「これはそういう意味だったのか」と、インプットした知識と実務が繋がり、理解がより深まることが多いと感じています。何か出来るようになるには、インプットだけ、アウトプットだけではなく、両方をバランスよく実施することが大事だと再認識しました。意識しないと目の前の業務に追われインプットが疎かになったり、逆にインプットだけで終わってしまうことも多いですが、インプットとアウトプットのバランスを常に意識して業務を行っていこうと思います。

発行元：株式会社フラッグシップ経営　経営革新等認定支援機関
大阪本社　：〒541-0043　大阪市中央区高麗橋３丁目 2-7　ORIX 高麗橋ビル５階
和歌山支店：〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８　中之島８０１ビル　１２階
ＴＥＬ：0120-34-8776　　FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp　　URL：www.flagship-keiei.co.jp